

令和5年3月24日 経済局企画調整課

第124回横浜市景況・経営動向調査(令和5年3月実施)(通常調査)

調査結果のまとめ

自社業況BSIは、全産業でマイナス23.6となり、4期ぶりに低下来期、再来期は緩やかな上昇を見込むものの、エネルギー・物価高騰等の影響により先行き不透明

【調査のポイント】

- 今期(令和5年1-3月期)の自社業況BSI(※)は▲23.6と、前期(▲19.4)と比べて4.2ポイント低下しました。
- 業種別では、製造業の今期のBSIは▲24.2と、前期(▲21.9)より2.3ポイント低下しました。非製造業の今期のB SIは▲23.1と、前期(▲17.8)より5.3ポイント低下しました。
- 規模別では、大企業の今期のBSIは▲15.0と、前期(▲15.4)より0.4ポイント上昇、中堅企業の今期のBSIは ▲17.8と、前期(▲13.5)より4.3ポイント低下しました。中小企業の今期のBSIは▲25.4と、前期(▲20.8)より4.6ポイント低下、また中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲29.9と、前期(▲26.2)より3.7ポイント低下しました。
- 先行きについては、<u>来期(令和5年4-6月期)の自社業況BSIは▲22.3</u>と、今期(▲23.6)より1.3ポイント<u>上昇、再来期(令和5年7-9月期)の自社業況BSIは▲19.4</u>と、来期(▲22.3)より2.9ポイント<u>上昇</u>する見通し。

【調査対象】市内企業1,000 社(回収数:718社、回収率:71.8%)

【調査時期】令和5年2月2日~2月22日(調査票回答期間及びヒアリング調査期間)

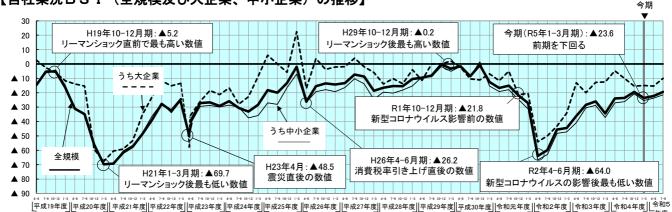
※調査票回答期間は令和5年2月2日~2月20日

※ BSI(Business Survey Index):自社業況BSIは、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

1 自社業況判断(自社業況 BSI: 良い%-悪い%)

【自社業況BSI(全規模及び大企業、中小企業)の推移】



【自社業況BSI(業種別・規模別)の推移】

		令和 4 年 4-6 月期	令和 4 年 7 − 9 月期	令和4年 10-12月期	令和5年 1-3月期		令和5年 4-6月期	令和 5 年 7 − 9 月期
				(前期)	(今期)	今期一前期	(来期)	(再来期)
	全産業	▲ 24. 0	▲ 23. 6	▲ 19. 4	▲23.6	▲ 4. 2	▲ 22. 3	▲19.4
業	製造業	▲31.8	▲ 27. 0	▲ 21.9	▲ 24. 2	▲2.3	▲ 23. 3	▲ 21. 0
種	非製造業	▲ 18. 7	▲ 21.3	▲ 17.8	▲ 23. 1	▲ 5. 3	▲ 21.5	▲18.3
	大企業	▲ 4. 8	▲ 10.0	▲ 15. 4	▲ 15. 0	0. 4	▲ 15. 4	▲ 10. 0
規	中堅企業	▲ 17.8	▲ 16. 7	▲ 13.5	▲ 17.8	▲ 4. 3	▲ 16.5	▲ 12. 4
模	中小企業	▲ 27. 0	▲26.2	▲20.8	▲25.4	▲ 4. 6	▲ 23. 8	▲ 21.5
	うち小規模企業	▲ 33. 9	▲ 37. 1	▲26.2	▲ 29. 9	▲3.7	▲ 25. 7	▲ 25. 8

(注) 令和5年4-6月期及び令和5年7-9月期は見通し。

【業種別動向】(前期:令和4年10月~12月期、今期:令和5年1月~3月期、来期:令和5年4月~6月期)

業 種	前期	今 期	来 期	ヒアリング対象企業のコメント
	\times	\tilde{\	学	・コロナ禍で観光客向け商品の需要が減少したが、経済活動再開に伴い、売上も回復している。一
食料品等	<u>√</u> 17.4		1 3 9.1	方で、小麦に加え、卵の価格も高騰するなど、物価高騰の長期化を懸念している。(菓子製造) ・減少していた外食関係の需要は、コロナが収束する中で、回復傾向にある。しかし、食品原料価格
	(▲ 14.3)	(▲ 4.7)	(▲ 38.1)	・ 減少していたた良関係の需要は、コロケが収集する中で、回復傾向にめる。これで、良品原料画格 や工場の電気料金が高騰しており、その影響を大きく受けている(調味料製造)
	(华	4	正共以弗士唑。○比娜七克以子以7,唯是以2. 王仁士唑(~). 7. 1 章 k 7. 李 1 / 1. 400 · 000 / 10
	4	L L	OT	・原材料費高騰の影響を受けている。昨年から更に高騰していると感じる。売上は、10%~20%程 度減少しているため、今期の業況は悪いと回答した。(自動車部品製造)
鉄鋼・金属等	▲ 11.2	31.1 €	▲ 18.4	・電子部品の納入が滞っており、売り上げの見通しが立たない。また原材料費の高騰も影響してい
	(▲ 11.4)	(▲ 31.6)	(▲ 18.6)	る。電気料金は年間で10%相当、年額200万円程度増額し、収益を圧迫している。(金属加工)
	学	学	学	・売上はコロナ前の水準に戻っているが、原材料の高騰や金利の上昇など、収益面や資金繰りは 悪い状況から変わっていない。自動車業界のEVシフトなどにより、技術面・サプライチェーン面での
一般機械	▲ 35.5	▲ 27.0	▲ 30.7	構造変革が起きており、受注が拡大した。(電気部品製造)
	(▲ 35.1)	(A 27.6)	(▲ 33.3)	・原材料費の高止まりによる仕入れ価格の上昇や円安による影響を、販売価格に転嫁することが
	μ μ			難しく、利益率の低下傾向は継続する見込み。(機械部品製造)
	Q,	Q.	A	・取引先の投資控えによる影響などから、今期の業況は前期とあまり変わらないが、外国人観光客 の増加を受け、取引先の投資状況が回復に転じ、好転することを見込んでいる。(照明機器)
電機∙精密等	▲ 15.3	▲ 14.0	▲ 12.2	・発注先のいくつかの部品メーカーに関しては、材料が集まらず増産ができないといった話も聞くが、
	(▲ 12.2)	(▲ 11.4)	(▲ 11.4)	トータルして業況が左右されるほど影響を受けているわけではない。(電子部品)
	#		6	・感染症や自動車業界の半導体不足や工場稼働低下、さらに円安の影響も重なって業況は悪い。し
 輸送用機械	L .	↓ 42.8		かし、来期以降は自動車業界の業況回復を見込んでいる。(物流機器製造)
THI 人工 / TI 1 及 1 从				・足元は半導体不足による自動車生産の回復の遅れ、材料費・エネルギーコストの高騰によるコスト増が負担となっている。今後の見通しは、不透明な部分が多い。(自動車部品製造)
	(▲ 33.3)	(▲ 33.3)	(▲ 14.3)	
74 = 7 114	Å.	一	一	・原材料価格が高騰しているが、価格に転嫁できていない。コロナ禍と円安の影響から部品が不足 しており、来期以降の工事が予定どおりできるか不安な状況である。(ケーブル工事)
建設業	▲ 19.7	▲ 20.6	▲ 22.6	・人材不足に加え職人の高齢化により、仕事を担える人が減ってきている。人材を入れて育てたい
	(▲ 24.1)	(▲ 25.5)	(▲ 25.9)	が、金銭的にも余裕はない。また、仕入れ価格の高騰もあり、先行きの見通しは悪い。(設備工事)
	#	学	~	・12月以降の輸入の減少が業況悪化の原因。消費財や化学原料など様々な商品を取り扱っている
運輸•倉庫業		▲ 20.3	▲ 22.2	が、全体的に取扱量が減少した。前年同期と比べ売り上げは1割程度減少した。(港湾物流)
	(▲ 10.4)	(▲ 27.3)	(▲ 25.0)	・価格高騰により、仕入価格が上昇する一方、顧客に対する値上げが難しい状況であるため、今期 の業況は悪いとした。来期以降も、減少傾向が続くと思われる。(貨物輸送)
		Å.	Æ	・原材料価格の高騰や流通コストの高騰など、今までにない状況に直面している。製造、輸送、梱包 にかかる費用や、電気ガスなど全てが一斉に値上がりし、非常に大きな影響を受けている。
卸売業	▲ 4.8	▲ 19.1	▲ 15.9	・コロナ禍で減っていたイベント需要は徐々に通常どおりに戻りつつあるが、個々のイベントの規模
	(0.0)	(▲ 23.3)	(▲ 18.6)	の縮小傾向は相変わらずであり、引き続き予断は許されない。(ともに卸売業)
	学	学	学	・電気の使用量を減らし節電対策を実施しているが、使用料金は昨年度から倍増の状況。粗利確保
小売業	ն Δ 32.1	ر ∆ 36.5	▲ 36.5	に向けた対策も実施しているが、光熱費の高騰に全く追いつかない状況である。(スーパー)
1722				・仕入価格は落ち着きを取り戻しつつあるものの、販売量が例年と比べて大きく落ち込んでいる。全 国的な物価高からか、消費者の節約志向も反映されていると考えている。(ガス販売)
	(▲ 32.4)	(A 43.7)	(▲ 34.4)	日からの同間のつかでは、一日の日ののでは、「日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の
	学	T	7	・コロナの影響とともに、物価高の影響も非常に大きい。テイクアウトやデリバリーは行わず、店舗で
飲食店·宿泊業	▲ 40.0	▲ 52.9	▲ 52.9	の営業のみだが、感染者数が落ち着いている時期でも以前程の来店者数に戻らない。(飲食店) ・電気代、食材費の高騰の影響が続き、厳しい状況が続いている。電気代は通常の倍近くの出費と
	(▲ 60.0)	(▲ 53.8)	(▲ 53.8)	なっており、食材費はそれに比べると影響が少ないものの、価格転嫁はできていない。(宿泊業)
	学	学	4	・今期の売上は増加している。感染症の脅威が収まりつつある中、企業の採用活動や通勤通学など
不動産業	_	1 1 21.2	 ▲ 15.1	ライフスタイルが変化し、住環境の見直しなどが行われているためという印象を受けている。
1`判准未				・退去が出ないよう日頃から入居者目線の工夫や改善を行っており、長期入居が継続できている。 今期来期と空室なく安定しているが、共用部分の電気代値上げは大変痛手。(ともに不動産業)
	(▲ 38.9)	(▲ 21.1)	(▲ 26.3)	
	Æ		Æ	・システム開発関係の受注が前年よりも増え、売上・利益ともに今期は増加した。需要はあるが、人 材不足で受注機会を損失。専門的な知識や技術を有する人材は常に不足。(システム開発)
情報サービス業	▲ 8.9	6.7	▲ 11.4	・
	(▲ 20.0)	(10.0)	(▲ 10.0)	響などから、仕入に係る資金繰りが悪化しており、先行きは不透明。(ソフトウエア開発)
	4	华	#	・今期の業況は良くなかったが、感染症による影響の収縮、イベント等に対する規制の緩和が進ん
対事業所サービス業	▲ 14.1	ل ا	\sim	でいけば、売上は戻る見通し。現在も、単発・小規模イベントでの依頼は増えつつある。(警備)
カテネの / こハ木	(▲ 16.2)	(▲ 22.2)	(▲ 11.1)	・総需要自体は落ちているが、令和5年春以降の値上げに備えた買い溜め需要を見込む。値上げのプラス効果と総需要減少のマイナス効果が打ち消し合い、大幅な回復は想定できない。(印刷)
	~	7	~ ~	・コロナ禍で売上が伸びない中、従業員の賃上げも行ったため、料金改定を行った。電気代など固 定費の上昇には困惑している。来期以降は感染状況が落ち着き需要増を見込む。(美容室)
対個人サービス業	▲ 24.3	▲ 40.5	▲ 22.8	た負の工弁には凶恐している。木州以降は恐呆れ沈か洛ら有さ需要増を見込む。(美谷至) ・コロナの影響はまだ大きい。また、電気代の高騰により、コストの負担感が増している。今期は厳し
	(▲ 26.6)	(A 41.4)	(▲ 25.0)	い状況だが、今後の感染状況次第で業況が回復するのではと期待している。(スポーツ施設)

※BSI=自社業況「良い」%-自社業況「悪い」%

※今期の BSI (全規模) が前期よりも 10 ポイント以上差がある、

業種については、矢印を表記している。

※表中の見方は右図の通り。

	— 天気マーク(下図参照)
	一 全規模のBSI値
(▲ 22.2) ←	一 中小企業のBSI値

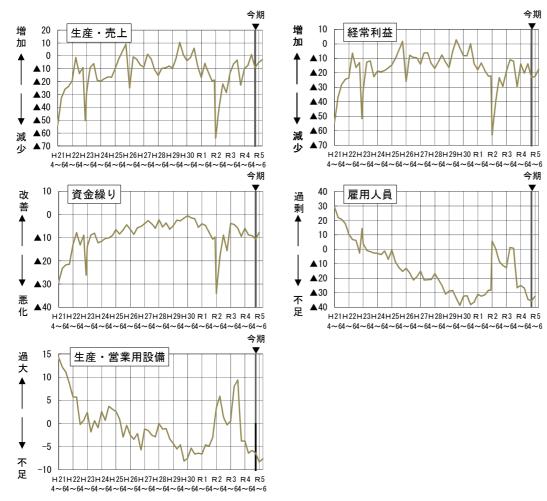
BSI	▲60.1以下	▲ 60.0 ~ ▲ 40.1	▲40.0~ ▲20.1	▲ 20.0 ~ ▲ 5.1	▲ 5.0 ~ 5.0	5.1~ 20.0	20.1以上
天気			#	#		-	

2 主要項目の推移

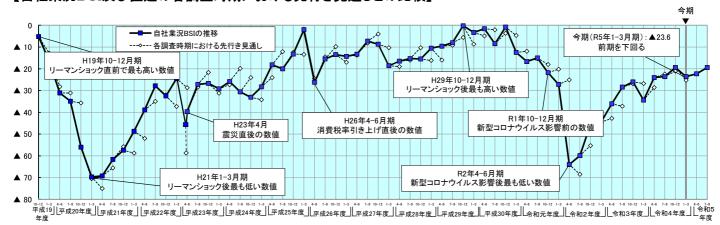
【主要項目(全産業)の推移】

	令和4年 4-6月期	令和4年 7-9月期	令和4年 10-12月期 (前期)	令和5年 1-3月期 (今期)	今期-前期	令和5年 4-6月期 (来期)	令和5年 7-9月期 (再来期)
自社業況	▲ 24. 0	▲23.6	▲19. 4	▲ 23. 6	▲ 4. 2	▲ 22. 3	▲19. 4
(1)生産・売上	▲ 10. 1	▲ 7. 4	1.0	▲9.3	▲10.3	▲ 5. 1	▲3.0
(2)経常利益	▲ 13. 7	▲ 20. 2	▲ 13. 7	▲23. 2	▲9.5	▲ 22. 5	▲ 17.5
(3)資金繰り	▲5.9	▲8.8	▲ 9. 1	▲ 10.6	▲ 1.5	▲7.7	
(4)雇用人員	▲ 24. 9	▲26.7	▲ 34. 5	▲35.7	▲ 1.2	▲ 32. 4	
(5)生産・営業用設備	▲3.8	▲6.4	▲ 5.8	▲6.4	▲0.6	▲8.3	▲ 7. 6

- (注) 令和5年4-6月期及び令和5年7-9月期は見通し。
- (3) 資金繰り及び(4) 雇用人員については、令和5年7-9月期の見通しは調査対象外としている。



【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



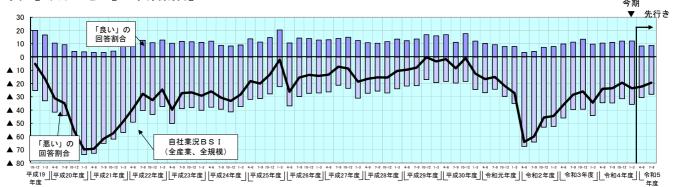
		令和4年	令和5年		1-3)	月の回答の割	合%	令和5年	令和5年	回答
		10-12月期	1-3月期	今期-前期	良い	普通	悪い	4-6月期	7-9月期	企業数
全	産業	▲ 19.4	▲ 23.6	▲ 4.2	12. 1	52.2	35. 7	▲ 22.3	▲ 19.4	(**) 717
製	造業	▲ 21.9	▲ 24.2	▲ 2.3	15. 6	44.6	39.8	▲ 23.3	▲ 21.0	289
	食料品等	▲ 17.4	▲ 8.7	8. 7	26. 1	39. 1	34.8	▲ 39.1	▲ 34.8	23
	繊維•衣服等	▲ 25.0	▲ 16.6	8.4	16. 7	50.0	33. 3	▲ 40.0	▲ 40.0	6
	印刷	▲ 42.9	▲ 30.8	12. 1	15. 4	38.5	46. 2	▲ 23.1	▲ 33.3	13
	石油·化学等	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 7.5	16.0	48.0	36.0	▲ 16.0	▲ 8.0	25
	鉄鋼·金属等	▲ 11.2	▲ 31.1	▲ 19.9	11.5	45.9	42.6	▲ 18.4	▲ 15.0	61
	一般機械	▲ 35.5	▲ 27.0	8.5	14. 3	44.4	41.3	▲ 30.7	▲ 25.4	63
	電機・精密等	▲ 15.3	▲ 14.0	1.3	14. 0	58.0	28.0	▲ 12.2	▲ 8.0	50
	輸送用機械	▲ 25.0	▲ 42.8	▲ 17.8	4.8	47.6	47.6	▲ 20.0	▲ 20.0	21
	その他製造業	▲ 24.2	▲ 22.3	1.9	29. 6	18.5	51. 9	▲ 29.6	▲ 40.8	27
非	製造業	▲ 17.8	▲ 23.1	▲ 5.3	9.8	57.2	32. 9	▲ 21.5	▲ 18.3	428
	建設業	▲ 19.7	▲ 20.6	▲ 0.9	11. 1	57. 1	31. 7	▲ 22.6	▲ 18.3	63
	運輸•倉庫業	▲ 10.1	▲ 20.3	▲ 10.2	13.0	53.7	33. 3	▲ 22.2	▲ 20.7	54
	卸売業	▲ 4.8	▲ 19.1	▲ 14.3	11. 1	58.7	30. 2	▲ 15.9	▲ 11.3	63
	小売業	▲ 32.1	▲ 36.5	▲ 4.4	7.7	48.1	44. 2	▲ 36.5	▲ 34.6	52
	飲食店•宿泊業	▲ 40.0	▲ 52.9	▲ 12.9	5. 9	35.3	58.8	▲ 52.9	▲ 29.4	17
	不動産業	▲ 31.3	▲ 21.2	10.1	6. 1	66.7	27. 3	▲ 15.1	▲ 15.2	33
	情報サービス業	▲ 8.9	6.7	15.6	17.8	71.1	11. 1	▲ 11.4	▲ 9.5	45
	対事業所サービス業	▲ 14.1	▲ 25.0	▲ 10.9	7.8	59. 4	32.8	▲ 14.3	▲ 12.7	64
	対個人サービス業	▲ 24.3	▲ 40.5	▲ 16. 2	2.7	54. 1	43. 2	▲ 22.8	▲ 20.0	37

BSI(Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI=良い%-悪い%

		令和4年	令和5年		1-3)	月の回答の割]合%	令和5年	令和5年	回答
		10-12月期	1-3月期	今期-前期	良い	普通	悪い	4-6月期	7-9月期	企業数
全	産業	▲ 19. 4	▲ 23.6	▲ 4.2	12. 1	52.2	35. 7	▲ 22.3	▲ 19.4	717
	大企業	▲ 15. 4	▲ 15.0	0.4	7. 5	70.0	22. 5	▲ 15. 4	▲ 10.0	40
	中堅企業	▲ 13.5	▲ 17.8	▲ 4.3	8. 5	65.3	26. 3	▲ 16.5	▲ 12.4	118
	中小企業	▲ 20.8	▲ 25.4	▲ 4.6	13. 2	48. 1	38.6	▲ 23.8	▲ 21.5	559
	うち小規模企業	▲ 26. 2	▲ 29.9	▲ 3.7	12.8	44. 5	42.7	▲ 25.7	▲ 25.8	211
製	造業	▲ 21.9	▲ 24.2	▲ 2.3	15. 6	44.6	39.8	▲ 23.3	▲ 21.0	289
	大企業	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 6.7	0.0	60.0	40.0	▲ 33.3	▲ 20.0	10
	中堅企業	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 7.3	18. 2	36.4	45. 5	0.0	10.0	11
	中小企業	▲ 21.6	▲ 23.6	▲ 2.0	16. 0	44. 4	39. 6	▲ 23.9	▲ 22.2	268
	うち小規模企業	▲ 27.7	▲ 28.2	▲ 0.5	15. 3	41.1	43.5	▲ 22.7	▲ 23.8	124
非	製造業	▲ 17.8	▲ 23.1	▲ 5.3	9.8	57. 2	32. 9	▲ 21.5	▲ 18.3	428
	大企業	▲ 10.0	▲ 6.7	3. 3	10.0	73.3	16. 7	▲ 10.0	▲ 6.7	30
	中堅企業	▲ 12.8	▲ 16.8	▲ 4.0	7. 5	68. 2	24. 3	▲ 18. 2	▲ 14.6	107
	中小企業	▲ 20.2	▲ 27.1	▲ 6.9	10.7	51.5	37.8	▲ 23.9	▲ 20.7	291
	うち小規模企業	▲ 24. 1	▲ 32.2	▲ 8.1	9. 2	49. 4	41.4	▲ 29.9	▲ 28.6	87

(※) 回収数 (718件) のうち、無回答数 (1件) を除いた値。

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎報告書掲載 URL https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html

	お問合せ先	
経済局政策調整部企画調整課長	高橋 正海	Tel 045-671-2565
横浜商工会議所企画課長	牧畑 昌明	Tel 045-671-7433